

平成 27 年 度

# 事 業 計 画 書

公益財団法人 馬事文化財団

# 目 次

I	根岸競馬記念公苑における事業	1
1	馬の博物館事業	1
(1)	馬に関する博物資料の収集、保管	1
(2)	馬に関する博物資料の展示	1
(3)	馬に関する博物資料の調査、研究	1
(4)	出版事業	1
(5)	研究交流・外部協力及び研修等の実施	2
2	馬展示事業	2
(1)	馬の展示	2
(2)	馬事イベントの開催と外部協力	2
(3)	厩舎管理等	3
3	馬と馬文化に関する学習支援及び普及活動	3
4	馬文化保存事業	3
5	公苑管理業務	3
II	J R A 競馬博物館における事業	3
1	J R A 競馬博物館事業	3
(1)	競馬に関する博物資料の収集、保管	3
(2)	競馬に関する博物資料の展示、運用	4
(3)	競馬に関する博物資料の調査	4
(4)	出版事業	4
(5)	移動展示及び他団体主催展示への協力	4
(6)	馬に関する学習支援及び普及活動	4
III	競馬振興会館 (Gate J. ) における事業	4
1	競馬振興会館事業	4
(1)	馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信	5
(2)	イベントの実施	5
(3)	馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映	5
IV	広報活動	5
V	J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	5

## 平成 27 年度 事業 計 画

平成 27 年度においては、当財団の定款第 4 条の目的を達成するため、根岸競馬記念公苑 馬の博物館をはじめとする財団各施設等において効果的な展示、イベント等を行うとともに、それらを広く告知、広報し学術及び文化の発展に寄与します。

### I 根岸競馬記念公苑における事業

#### 1 馬の博物館事業

##### (1) 馬に関する博物資料の収集、保管

馬に関する博物資料や情報の収集及びこれらの保管、保持に努めます。また、収集した博物資料については「博物資料管理システム」に情報を逐次入力し、効率的な情報管理を図ります。

なお、博物資料の保管にあたっては、文化財保護の基本的観点から、保存環境を整え、将来への継承に備えます。

##### (2) 馬に関する博物資料の展示

馬文化と競馬文化に関する知識の普及と強化を図るため、これまでに蓄積した馬に関する博物資料を、最良の状態で、様々に工夫をして展示して鑑賞に供します。

春季は特別展『歴史コミックと馬（仮称）』を開催します。クールジャパンの標語のもと、日本の様々な文化とともにその魅力が世界に発信されているマンガの中から、馬が登場する歴史や歴史上の人物、古典を題材にしたコミックを取り上げ紹介します。

秋季は企画展『Bon Voyage-Les Chevaux 山本容子展（仮称）』を開催いたします。ユーモラスな作風と都会的で洗練された色彩で見る者を魅了する山本氏の世界を、銅版画、油彩、挿絵、ジュエリーなど幅広いジャンルでご紹介します。

その他にテーマ展示として、『ひく馬 はこぶ馬』をはじめ、『馬の顔』『祈りの馬』『馬の伝統行事 西日本編』（いずれも仮称）など、年間を通して歴史、民俗、美術、自然、競馬各分野のテーマを設ける他、美術大学との共催、海外の著名写真家による馬の写真展などを行います。

常設展示については、来館者の馬への理解が深まるように、収蔵品を活用した効果的な展示を行います。

##### (3) 馬に関する博物資料の調査、研究

馬の文化について、自然科学（進化・品種等）、人文・社会科学（歴史、考古、民俗、美術工芸、馬術・乗馬、競馬等）の各分野において、広く文献収集・聴取・実地調査を行うとともに、調査結果の分析・研究を行います。

##### (4) 出版事業

馬の文化についてより一層の理解醸成を図るため、各種印刷物の刊行及びビデオ映像の制作を行い、広く配布、放映します。

- ① 特別展等については、来館者の多様な関心に応えて、展示内容の理解の助けとなるように展示内容を中心とした図録・リーフレットを作製します。
  - ② 馬に関する博物資料の調査、研究その他の活動の成果は『馬の博物館研究紀要』あるいは小冊子等を刊行し発表します。その他、講演等の機会をとらえて、外部に発表します。
  - ③ 刊行物は、全国主要博物館、美術館、図書館、大学、J R A各施設及び競馬サークル内の各団体等に配布します。
- (5) 研究交流・外部協力及び研修等の実施
- ① 調査研究活動の成果発表により、広く学術の発展に貢献するとともに、学会・研究プロジェクト等に参加し、研究交流を促進します。
  - ② 全国の博物館における馬の文化にかかわる展示・出版・映像等の企画に協力し、内容の向上に寄与することを目指します。
  - ③ 全国の博物館・美術館や公共機関並びにJ R Aや競馬サークル各団体等の要請に応じ、馬文化及び競馬の歴史等について展示解説・講義等を実施します。
  - ④ 日本博物館協会、全国美術館会議、神奈川県博物館協会等の行う会議、研究会、専門部会に参加するとともに、各地の博物館、教育機関と資料の相互活用及び情報交換を行います。
  - ⑤ 大学の学芸員課程の依頼に応じ、実習生を受け入れて指導を行うとともに、獣医・動物看護関連学校の研修、見学も依頼に応じて受け入れます。

## 2 馬展示事業

### (1) 馬の展示

身近に接し見る機会が少なくなっている馬について、博物館事業の一環として、繋養展示します。その際は、多品種の馬を繋養し、施設内での放牧や騎乗等の他、日常の飼養管理の様子を紹介します。

また、品種の中には貴重な日本在来馬種を揃えて、保存活動の一助とします。

### (2) 馬事イベントの開催と外部協力

展示馬を活用し、自らが馬事関連イベントを主催するとともに、広く外部団体等にも同馬を使い催事等への協力を行います。

- ① 馬の博物館の入館者を対象として、定期的に体験乗馬及び馬車の試乗会等やふれあいタイムを行い、来苑者が実馬に触れ合える機会を設けます。
- ② 馬をテーマとしたイベントとして、春季は5月5日に『馬とあそぼうこどもの日』、秋季は11月1日に『馬とのつどい 2015』を開催します。
- ③ J R A及び競馬サークル各団体の他、教育機関・公共機関が主催するイベント等において、展示馬の出張等の協力を行い、馬の魅力や当財団の普及に努めます。

- ④ 展示用実馬の管理や運動の他、馬事関連イベントについて、自発的な協力活動を行う愛馬少年団の要請に応じて、安全を確保した上で、適切な指導を行います。

(3) 厩舎管理等

展示馬の健康管理及び事故防止に万全を期すとともに、厩舎内外の衛生管理並びにお客様への快適な展示環境の提供に努めます。

### 3 馬と馬文化に関する学習支援及び普及活動

学校教育・生涯学習、観光の分野等、幅広い期待に応えるため、児童・生徒の遠足や見学、各種団体の視察等の様々な機会をとらえて、馬と馬文化に関する、多様な学習支援及び普及活動を行います。

実施に際しては、博物館機能と展示用実馬を最大限に活用して、その知識と理解を深めるとともに、参加者が継続的に馬及び馬文化を学習できる、普及の拠点となるように努めます。

- ① 特別展示などに即して各種講座・講演会を企画します。
- ② 行政や公共機関、他の博物館等と連携して、定期的な団体見学を企画し積極的に受け入れます。
- ③ 学校教育機関と連携して、小中高生等の団体による体験学習・生活学習の受け入れを積極的に行います。また、職場体験など個別の体験学習も受け入れます。

また、年間を通じて小中高生は土曜日を無料入館日とし、児童・生徒・学生の来館を促進するとともに、馬及び馬文化を学習する企画を定期的実施します。特に夏休みには、馬や競馬の歴史についてのレクチャー、馬に関する相談コーナーや工作教室等のワークショップの開設など教育活動を強化して実施します。併せて、幼児から小学生対象には、馬の写生会等、馴染みやすいイベントを行います。

### 4 馬文化保存事業

馬にちなんだ日本の伝統行事や祭事の保存・振興及び国内在来馬8種の保存を図るための事業を実施します。

### 5 公苑管理業務

種々の草花や樹木の整備など自然環境保持に努め、近隣の児童・生徒等の教育や、自然を楽しむ人々の生涯学習の場として、また、来苑者の憩いの場としても広く利用される施設整備を図ります。

## II JRA競馬博物館における事業

### 1 JRA競馬博物館事業

- (1) 競馬に関する博物資料の収集、保管

競馬に関する国内外の博物資料を調査し、体系的に収集、保管に努めます。また、収集した博物資料については「博物資料管理システ

ム」に情報を逐次入力し、効率的な情報管理を図ります。

(2) 競馬に関する博物資料の展示、運用

ギャラリーでは、4月まで、30頭目の顕彰馬に選出されたエルコンドルパサーの蹄跡を振り返るとともに、海外G I競走に挑戦した馬たちを紹介する『エルコンドルパサーの蹄跡～凱旋門賞に挑んだ馬たち～(仮称)』を開催します。また、春季特別展として、昨年顕彰者に選出された6名の方々をはじめ、往年の名騎手や“名コンビ”といわれた騎手と馬たちを紹介する『名手と優駿たち(仮称)』を開催します。

秋季特別展は、年末のビッグレースとして知られる“グランプリ”有馬記念が60回の節目を迎えるため、レースの歴史や過去の名勝負等を振り返る『有馬記念60回記念展(仮称)』を開催します。その他、タイムリーな話題等についての展示等も適宜実施します。

テーマコーナーでは、初春に前年の中央競馬を回顧する『2014年度JRA賞展』を開催します。続いて、日本古来の伝統馬事芸能に着目し、『馬と伝統行事～全国の馬の祭り～(仮称)』を開催します。秋季には、『馬の意匠展(仮称)』と題し、江戸時代の襦袢から現代のブルゾンまで、馬がデザインされた様々な衣類等を古今織り交ぜて紹介します。

エントランスホールでは、『2015年度新人騎手紹介展』『第82回日本ダービー優勝馬展』『第35回ジャパンカップ優勝馬展』(いずれも仮称)を開催します。この他、その時々話題を集めた騎手や競走馬等に関する展示を随時行います。

なお、館内には展示物や競馬に関する知識等を習得したインストラクターを配置し、来館者により競馬の魅力を感じていただけるように館内の案内や利用上の説明等に努めます。また、体験機器については安全で円滑な運用を行います。

(3) 競馬に関する博物資料の調査

特別展、テーマ展の実施にあたり、必要な文献収集・聴取・実地調査を行い、その結果を展示に反映させます。

(4) 出版事業

競馬についてより一層の理解醸成を図るため、展示開催に合わせて適宜、配布用各種印刷物の刊行及びビデオ映像の制作を行います。

(5) 移動展示及び他団体主催展示への協力

JRA各施設及び競馬サークルの各関連団体の要請に応じて、競馬に関する移動展示に協力します。また、他の団体等が主催する、競馬及び馬の文化の普及に資する展示等について協力します。

(6) 馬に関する学習支援及び普及活動

お子様向けのワークショップ等を実施し、馬への関心を高める活動を行います。

### Ⅲ 競馬振興会館(Gate J.)における事業

#### 1 競馬振興会館事業

(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信

年間7回の予定で実施するテーマ展示及び常設展示等を通じて、馬の文化と競馬に関する知識の普及と強化を図ります。また、年間を通じてタイムリーな情報等を発信し、関心の醸成と知識の普及を図ります。

(2) イベントの実施

G I レースを中心に、Gate J. 内スタジオにおいてトークイベントや検討会等を開催し、レースに関する多種多様な情報提供のみならず歴史的な背景等についても紹介します。

また、主にG I 施行週の開催日に出張イベントとして、競馬場、ウインズ及び外部施設等で、トークショーや展示等を実施します。なお、競馬場では日本在来馬等を活用した、ふれあい等も併せて実施し、馬文化の普及と在来馬保存活動の推進に努めます。

(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映

映像（馬の博物館及びJ R A競馬博物館所蔵の資料映像等）を最大限に活用し、それらをグリーンチャンネル等で放映することにより、広く馬の文化に関する知識の普及と競馬の健全な発展に努めます。

#### IV 広報活動

馬の博物館とJ R A競馬博物館及びGate J. の各種展示予定や内容及びイベント情報等を告知するため、財団ホームページ及びJ R Aホームページ、各種配布物（ポスター・チラシ・パンフレット等）を活用するとともに、ターフビジョン・場内I T V、グリーンチャンネル等では映像による各種告知を図ります。

また、近隣の公共機関・交通機関及び他の博物館と連携し、広く案内等の広報を行うとともに、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等、各媒体に積極的な情報提供を行い、告知と集客のための広報活動を行います。

#### V J R A賞馬事文化賞候補作品の情報収集

J R Aから業務委託を受け、J R A賞馬事文化賞にかかわる情報の収集等を行います。